



平成 30 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社システムソフト
代表者名 代表取締役社長 吉尾 春 樹
(コード 7 5 2 7 東証第一部)
問合せ先 管理本部長 富田 保 徳
TEL 0 9 2 - 7 3 2 - 1 5 1 5

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 10 月 24 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 2 月 8 日に公表しました業績予想につきまして、平成 30 年 9 月期（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

また、特別損失の計上をすることになりましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 9 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,000	150	110	70	1.03
今回修正予想 (B)	2,475	△79	△150	△270	△4.08
増減額 (B-A)	△525	△229	△260	△340	—
増減率 (%)	△17.5	△152.7	△236.4	△485.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 9 月期)	3,371 —	130 —	81 —	58 —	0.86 —

※平成 30 年 9 月期第 1 四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、平成 29 年 9 月期の対前期増減率は記載していません。

2. 修正の理由

システムソリューション事業において、見込んでいた不動産システムにかかる大型案件について、最終的にお客様と条件が折り合わず失注したことにより、売上高は当初予想に対して未達となりました。また、予定より規模が縮小した一部の案件において、システム開発原価率が上昇した結果、営業利益が大幅に悪化いたしました。

これらの結果、売上高については、当初予想より 525 百万円減少する 2,475 百万円を見込んでおります。

営業利益については、上記のシステムソリューション事業の営業利益の減少に加え、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）分野を中心とした先行投資等における費用が想定を上回り、当初予想より 229 百万円減少する△79 百万円を見込んでおります。

経常利益については、上記要因により、当初予想より 260 百万円減少する△150 百万円を見込んでおります。

当期純利益については、上記要因と合わせて、特別損失として、東京本社のオフィス移転、福岡本社内のレイアウト変更工事に伴う費用計 30 百万円、新システムへの移行に伴い使用されなくなるソフトウェアの減損 27 百万円を計上したため、当初予想より 340 百万円減少する△270 百万円を見込んでおります。

なお、配当につきましては、今後の事業状況を踏まえて検討していくこととし、現時点の配当予想は修正ございません。

<ご注意>

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上